

新たな任期をスタートさせた横浜市会・議員

4月12日に行われた市議会議員選挙で86人の議員が選ばれ、4月30日から新たな議員の任期が始まりました。

5月15日から5月29日の日程で開かれた第2回市会定例会にて ●平成27年度横浜市一般会計補正予算(1号) ●横浜市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正 ●横浜市家庭的保育事業の設備、運営等の基準に関する条例の一部改正など49件が可決されました。また、新しい議長と副議長が選任され、常任委員会委員・特別委員会委員も決定し、

私し「長谷川たくま」は次の通りの委員会に決定しました。

●常任委員会

／健康福祉・医療委員会 委員

(地域福祉、障害者福祉、高齢者福祉、健康増進、疾病予防、食品衛生、感染症対策、医療政策、地域医療、市立病院の経営などの仕事について審査します。)

●特別委員会

／観光・創造都市・国際戦略特別委員会 委員

(MICEの推進、国際コンテナ戦略港湾の推進、国際戦略総合特区の推進、文化・芸術などの大規模集客イベントの開催に関する調査・研究を行います。)

市会の役割と仕事

近年、地域のことは地域が決める市民自治を実現するという地方分権社会への転換が進められ、日本最大の市である横浜市においては、大都市特有の課題をはじめとした多くの市政課題が複雑高度化する中、横浜市会が多くの権限と責任を担う大都市の議会として、市長その他の執行機関に対する監視や評価、政策立案や政策提言など、議会が果たすべき機能を最大限に発揮していかなければなりません。

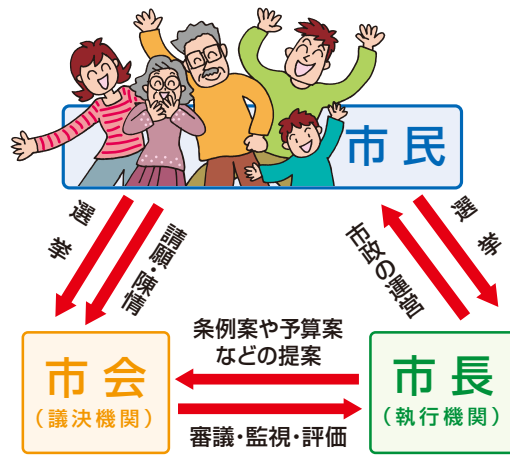
市会は、市民の生活をより一層豊かで潤いのあるものにしていくために、市民の代表として、市民の皆様の多様なニーズを把握し、市政の推進・発展を目指し、約370万人の市民が安心して暮らしていける社会実現のために尽力しています。

*横浜市議会は慣例により「市会」という呼称を使用しています。

市会と市長

市長は、予算案や市の法律である条例の案など、市政を運営する上で重要な事柄について市会に提案します。市会はそれらについて、疑問点をただしたり、議論したりして、賛否を決定します。そしてその決定に基づき、市長は実際に市政の運営を行います。

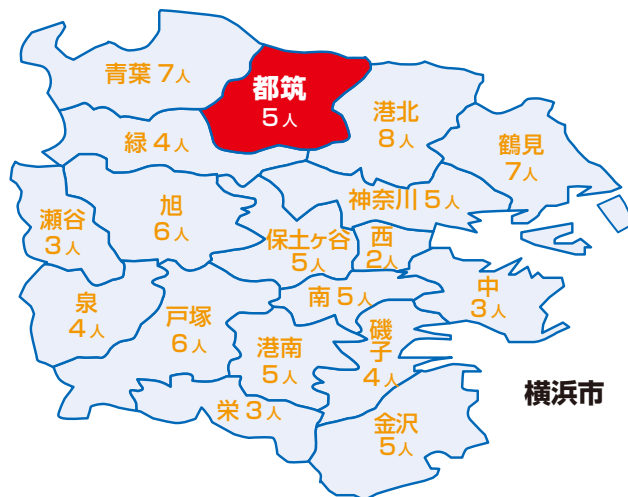
市会と市長は独立・対等の立場で、市政を担う「車の両輪」のような関係にあり、互いにけん制しあうことで調和と均衡を図りながら、公正な行政を確保し、市民の意思を尊重した、より良い市政の実現を目指しています。



議員

市会の議員定数は、市の条例により86人としています。(平成23年4月の一般選挙から。それ以前は92人。)市会議員は18の行政区ごとに選挙されています。

市会議員の任期は4年と定められ現議員の任期は平成27年4月30日から平成31年4月29日までです。



都筑区は横浜市内で平均年齢が最も若く、現在都市開発が進行中の元気な区です。価値観や生活様式が多様化するなか、「都筑区に住んで良かった」と思える地域を作り上げるため、しっかりと皆さんの声を市政に届けてまいります。

横浜市会議員 長谷川たくま

都筑区選出・横浜市会議員

長谷川たくま (琢磨)

力強くたくましく

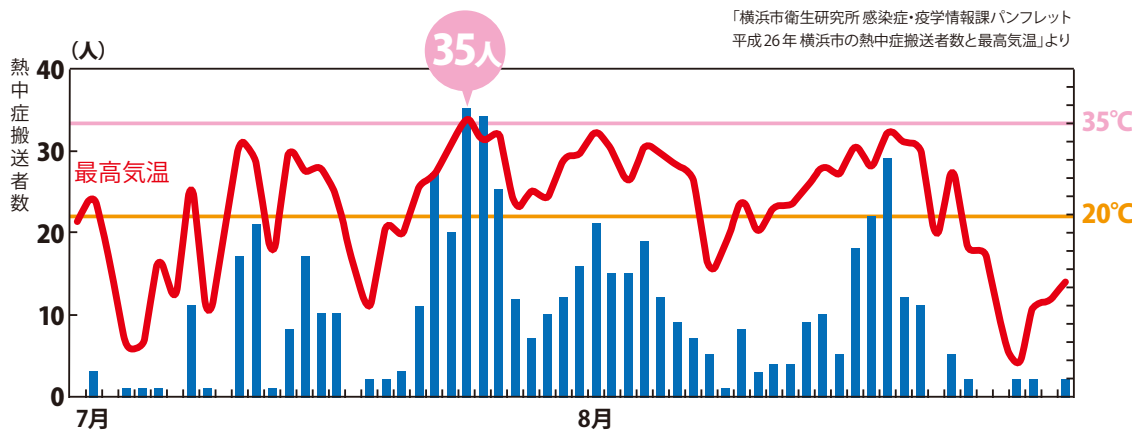


●昭和54年生まれ(35才) 横浜市都筑区東方町在住
●2015年4月横浜市会選挙 都筑区より初当選

熱中症に 気をつけましょう

昨年、横浜市の熱中症で搬送された人の約4割が高齢者で、その7割以上が室内で発症したことがわかりました。健康福祉・医療委員として、横浜市の現状と熱中症予防対策について報告します。

右の図は昨年の市内熱中症搬送者数と最高気温のグラフです。まだ身体が暑さになれていない時期の蒸し暑い日や、真夏の気温の高い日に熱中症は増加する傾向があります。



高齢者は特に注意が必要です

①体内の水分が不足しがちです

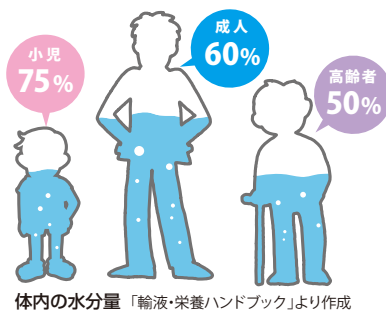
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少なく、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

②暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

③暑さに対する体の調整機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

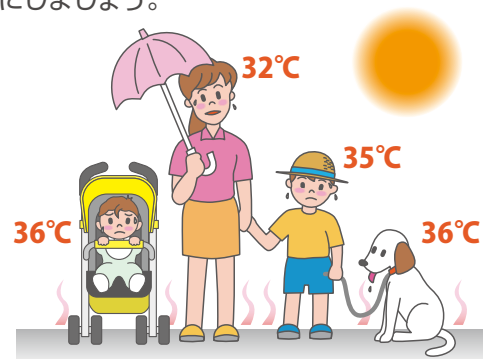


高齢者は脱水になりやすい体質です。脱水になると、血液を体の表面で冷やして体内に戻すという循環機能が低下し、熱中症になりやすくなります。しかも暑い日が続くと、徐々に脱水が進行します。

このため **室温計を確認して、28度を目安にクーラーの活用を始めて下さい。** 節電に気をつけて、我慢しすぎてしまう高齢者が心配です。クーラーによる冷えを好まない人も多いので、扇風機や、シャワーやタオルで体を冷やす工夫も活用しましょう。また、水分摂取を心がけましょう。ただし、心臓病、高血圧や腎臓病の方は、水分のとり方について主治医と相談してください。さらに、高齢者の健康状態を周りの人も注意してください。

幼児にも注意を!

遊びの最中に、水分補給や休憩を取るようにならしてください。



●幼児は体温調整機能が十分発達していないため、注意が必要です。

●晴れた日には、地面に近いほど気温が高くなるため、幼児は大人以上に暑い環境にいます。

熱中症にならないために!

最後に もう一度 こんな時は熱中症になりやすい

- こまめに水分補給し、特に気温が急上昇した日はもう一杯多く水分を摂りましょう。
- 室温計を設置しましょう。
- エアコン・扇風機を上手に使用し、28度の室温を保ちましょう。
- 涼しい服装をして、外出の時は日傘や帽子を使いましょう。
- 暑い時はこまめに休憩を取りましょう。



急に暑くなった日や、活動の初日などは特に注意

人間の体は暑い環境での運動や作業を始めてから3~4日経たないと、体温調整が上手になってきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で活動した時には、体温調整が上手くいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。汗をかいた時には、水分だけでなく塩分の補給も忘れずに!

プラスメモ 睡眠中の熱中症予防のためには、寝る前だからと水分を我慢せず、一杯の水と適度な塩分を補給しましょう。

熱中症の

応急 処置

CHECK1 熱中症を疑う症状がありますか?

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温



YES ↓

CHECK2 意識がありますか?

YES ↓

涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

CHECK3 水分を自力で摂取できますか?

YES ↓

水分・塩分を補給する

CHECK4 症状がよくなりましたか?

YES ↓

そのまま安静にして十分に休息をとり、回復したら帰宅しましょう

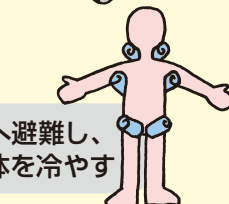
あれ?おかしいなと思ったときは...

もし、あなたのまわりの人が熱中症になってしまったら……。落ち着いて、状況を確認してから対処しましょう。最初の措置が肝心です。

救急車が到着するまでの間に応急処置を始めましょう。意識がないのに無理に水を飲ませてはいけません



氷のうなどがあれば、首、腋の下、太腿のつけ根を集中的に冷やしましょう



涼しい場所へ避難し、服をゆるめ体を冷やす

NO ↓

NO ↓

NO ↓

医療機関へ



本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状態を伝えましょう



大量に汗をかいている場合は、塩分が入ったスポーツドリンクや経口補水液、食塩水がよいでしょう